

第6回定期演奏会に寄せて

千葉工業高等学校長 景 山 徳 二

本年も例年の如く1月の第3土曜日の本日、吹奏楽の発表会を開くことになりました。今回で第6回になります。私共の学校は工業高校であり、教科の時間数も普通高校に較べて多く、その上音楽の授業もありません。7時間の授業の日が週に2日もあり、放課後も揃って練習をすることがなかなか容易ではありませんが、クラブの生徒一同水島先生の御指導をもとに、一生懸命に練習いたしましたこの一年の成果をこゝに発表させていただきます。

御来場の皆様にはどうかこの吹奏楽クラブをお育て下さる意味で、お気付の点がございましたら何卒御遠慮なく御指導下さいます様御願ひ致します。

本日は御来場をいただき衷心より御礼申し上げます。

関東吹奏楽連盟理事 水 島 数 雄
千葉県吹奏楽連盟常任理事

今回第六回目の千葉工業高校吹奏楽部の演奏会を開催するに当り、先ず劈頭に同吹奏楽部を永年の開育成され、今日の伝統を築き上げられた元同校教諭荒川一郎先生に対して深甚の敬意と感謝を捧げます。

就いては今年四月荒川先生より後任指導の御依頼をうけ尚学校当局の推薦もあつて今春五月以来指導に当り、その責務の重大さを痛感しつつ、心技共に立派なバンドの育成を目差して進んでいます。希望としては部員がスクールバンドたる性格を失わず、清新にして発利とした意気をもつて、明るく朗かに技術の錬磨に精進し、多くの人に愛されるバンドとなつて頂くことです。部員各々が誠実で素直な心をもつてたゆまず懸命の努力を続けることが、心技向上の所以と確信致します。今秋九月千葉県コンクールに於て幸いにも優勝し県代表として関東大会にも出演し入賞は逸しましたが、上位の成績を取め得たことは喜びに堪えません。本日の演奏も未熟な点がありましようが部員一同力一杯の演奏を致しますので皆様の御批判をお寄せ頂ければ幸です。今後とも皆様の温かい御支援を賜ります様お願い申し上げます。

元千葉工業高校吹奏楽部顧問 荒 川 一 郎
千葉工業高等学校教頭

千葉工業高等学校の吹奏楽部が誕生したのは昭和27年4月でありますから、今年で足掛11年になるわけでありまふ。その間先輩や現役の部員諸君の並々ならぬ努力や立派なチームワークのお蔭で演奏技術も年とともに向上し名実ともに皆様から愛される吹奏楽団に成長することができましたことは、創部当時から10年近く直接関係して居りました私としてもこの上ない喜びであります。

私の転任以来、しばらく生徒だけで自主的に演奏技術の研究をし合いながら演奏活動をしなければならない困難な時期もありましたが、よくその困難をのりこえて参りまして、今年は関東吹奏楽連盟の理事をして居られる水島数雄先生に御指導をしていただいて居りまして、演奏技術の面でも一段と進歩して居りますので皆様に楽しく聴いていただけることと思ひます。

昭和33年2月8日第1回の定期演奏会をこの教育会館を会場に開催しましてから、今日の第6回に至るまで、年とともに定期演奏会が盛大になりましたことは、御来場皆様の御支援の賜物と厚く感謝して居ります次第です。今後とも千葉工業高校吹奏楽部の発展のために御支援を賜りますようお願い申し上げます。

御 挨拶 千葉工業高等学校吹奏楽部一同

本日ここに第6回定期演奏会を開くことになりました。

私達は吹奏楽を通してお互いの人格の向上を計り、又、団体行動をとることによつて人間協調を育成する事が最大の目的であります。

本年は入賞は逸したものの、関東吹奏楽コンクールで4位になる事が出来ました。私達にとっては生涯忘れ得ぬ思い出となる事でしよう。

本日の演奏はまだ完全なものではないと思いますが、部員一同一生懸命演奏するつもりでおります。最後まで御聴き下さいまして、御気付の点が御座居ましたならば、御批評御指導頂ければ無上の幸と存じます。

プログラム

指揮 水島 数雄
特別指揮 荒川 一郎
指揮 栗原 義忠

I あいさつ

13.30 - 13.36

録音
65%

II 第一部 指揮 栗原 義忠

1. 行進曲「キングコットン」

13.37 - 39. 70%

.....スーザ 作曲

2. 吹奏楽コンクール随意曲「蘇える民族」

13.40 - 48 80%

.....佐藤長助作曲

3. タンゴ「碧 空」

13.49 - 51 70%

.....Blauer Himmel 作曲

4. 「バグダットの太守」

13.53 - 14.01 80%

.....ホルデイユ作曲

100%

III 第二部 指揮 水島 数雄

110%

1. 序 曲「セビリヤの理髪師」

14.12 - 14.21 120%

.....ロツシーニ作曲

2. 序 曲「キングステファン」

14.24 - 14.31 125%

.....ベートーベン作曲

3. 組 曲「大 峽 谷」 - 山路より -

14.32 - 37.

.....グロフエ 作曲

4. 「スラブ行進曲」 作品31

14.40 - 54

.....チャイコフスキー作曲

後 援

千葉工業高等学校PTA

千葉工業高等学校生徒会

IV 第三部 特別指揮 荒川 一郎

1. 行進曲「千葉エマーチ」 15.09-15.14

.....荒川一郎作曲

2. 序曲「印度の女王」 15.16-15.25

.....キング作曲

3. 行進曲「旧友」 15.26-15.31

.....タイケ作曲

4. 行進曲「鎧をあげて」 15.32-15.34

.....チムメルマン作曲

5. 民謡「八木節」 15.35-15.38

.....荒川一郎編曲

アンコール

ブルー・グランド 15.38-15.40

大漢節 15.40-15.43

V 第四部 指揮 栗原 義忠

1. 行進曲「星条旗よ永遠なれ」 15.54-15.58

.....スーザ作曲

2. 幻想曲「山寺の和尚さん」 16.05-16.11

.....泉真佐男作曲

3. 「オリジナルデキシーランドコンサート」 16.12-16.16

16.17-16.22

4. 「いつでも夢を」

.....栗原義忠編曲

5. 民謡「筑紫の旅」 16.23-16.29

.....筒井快哉編曲

6. 「エデンの東」 16.30-16.34

.....栗原義忠編曲

アンコール

地上最大作戦マーチ 16.35-16.37

6

回

— 1963. 1. 26 —

千葉市教育会館

曲 目 解 説

スラブ行進曲 作品31……………チャイコフスキー作曲

〔スラブ民族の主題によるセルビア・ロシア行進曲〕

1876年4月、当時オスマン帝国(トルコ)の圧制下にあつたバルカンの一國ブルガリアに暴動が起つた。しかしトルコはただちにこれを弾圧し、民族独立に立ち上つたブルガリアの愛国者達を多数死刑にした。この事件は全世界の進歩的な人々の間に強いきどおりをよび起したが、とくに同じスラブ民族に属するロシア人の同情は深かつた。やがて、バルカン諸民族の独立運動はさらに激しく広まり、1876年夏にはセルビアとトルコの戦争となつた。同年秋にはロシアの義勇軍がセルビアの独立を援助した。

この事件はロシアでも大きな社会的、思想的問題となりモスクワのニコライ・ルービンゼティンは、セルビアに義勇軍を送り、負傷兵を救済するスラブ慈善委員会のために大音楽会を催すことになった。そしてこの音楽会のための作曲をチャイコフスキーに依頼した。

ロシア社会の当時の気分完全に同情をよせていたチャイコフスキーはこの申し出を喜んで引受け、情熱をもつて仕事に着手した。リズムと勇壮な性格によつて「行進曲」の名称があたつているが、実際にはそれは大きな音画であるといつてよいであろう。そこにはロシア全体を支配していた当時の気分が異常な迫真力をもつて描きだされた。即ち構成のアポフエシス(大詰の場)はあたかも完全な勝利を予言するかのようである。しかもそれはロシア国家の主題が、全てを圧倒して現われる時だけである。このような表象は当時のロシアの社会的気分と完全に一致するものでつたので、スラブ行進曲は1876~77年の歓喜にみちた熱狂のほとんどもつとも力強い、かつ鮮明な芸術的記念碑となつている。

なおこの曲は最初「スラブ民族的主題によるセルビア、ロシア行進曲」とよばれていたが、のちに「スラブ行進曲」と改題された。

歌 劇「セビリアの理髪師」序 曲……………ロッシーニ作曲

19世紀前半、輩出したイタリア歌劇作曲家の中でも最も著しい存在であるロッシーニの40曲にのぼる歌劇の中で最大傑作として知られているのがこの「セビリアの理髪師」です。題材となつたのは18世紀フランスの劇作家ボーマルシエーの書いた同名の喜劇で、この劇の後篇ともいふべき「フィガロの結婚」は、先にモーツァルトによつて作曲され、不朽の傑作歌劇となつていることは御承知の通りです。

物語は年1750年頃、セビリアでの出来事、青年貴族アルマヴィーヴァと美しい娘ロジーナは相愛の仲ですがロジーナの後見人の医師バルトロが実はロジーナに野心をもっています。ここで世話好きの街の理髪師フィガロが恋人同志を助けて大活躍、波瀾万丈のぼう険の後、首尾よく二人を結びつけます。

序曲は今日単独でも数多く演奏される美しい音楽で、この歌劇の雰囲気をもごとにあらわしたものと知られています。ところがこの序曲はもともとこの歌劇のために書かれたものではなく、初演期日の切迫のために、前年に作つた歌劇「イギリス女王エリザベッタ」の序曲をそのまま流用したものなのです。しかし他の歌劇からの流用とはいいいながら、この序曲はロジーナの軽やかさ、フィガロの軽妙さなど、劇中人物の面影をまのあたりに先おれるようにさえ思われ、この歌劇に最もふさわしい性格的なものにみちています。

弦楽器と管楽器の店

K. K. お茶の水



下 倉 楽 器

千代田区神田駿河台2-2 TEL. 291 { 4022
4032

